

# [江別市] 施策達成度報告書

**政策** 05 豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

**施策** 02 生涯学習の充実

主管課 生涯学習課

## 施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢化、高度情報化、国際化などが急速に進展していく中で、高齢者医療などの社会保障、地球規模の環境悪化、産業構造の変化による雇用の不安定化や経済的格差の拡大などの問題がますます深刻化し、様々な課題が生じている。</li> <li>・ 都市化、少子化の進展や経済的な豊かさの実現など社会が成熟化する中で、家庭や地域の教育力の低下が進み、様々な問題が生じてきている。</li> <li>・ 物質的な豊かさに加え、生涯を通じて健康で生きがいのある人生を過ごし、その中でそれぞれの自己実現を図ることを求める人が増えており、精神的な充実や生活向上のため、学習の機会や要求が多様化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会の変化に応じ、生涯にわたり職業能力や就業能力を持ち、社会生活を営む上で必要な知識や技能等を習得させ、それぞれの持つ資質や能力を伸長することのできるような学習の機会や場の提供など、学習支援の充実がより一層必要である。</li> <li>・ 個人の要求や育成に向けた学習支援に加え、市民協働の促進を図るとともに、学校や地域、家庭との連携、協力体制を強化し、家庭や地域教育力の向上を図るべく、地域社会の基盤整備が必要である。</li> <li>・ 経験や学習により習得した資質や能力を伸長すべく人材育成に向けた学習支援とともに、その人材を地域やまちづくりに生かしていくというような循環型の学習システムの構築が必要である。</li> <li>・ 社会教育施設の整備の充実を、指定管理者制度の枠組みの中、どのように図っていくかが課題となる。</li> </ul>

## 施策の目的

生涯にわたって学習できる環境を整えることによって、市民が生涯学習を行う機会が増加し、自己の充実を図り、生きがいを見いだすことができるようにします。

## 対象 (誰を対象とした指標か)

市民

## 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

生涯学習を行う市民が増加する。

## 施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習を行う市民割合	%	38.7	44.1	-	43.1	↗

## 施策の達成状況 (23年度)

少子高齢化、高度情報化、国際化が急速に進む中、地域の活性が求められており、その一端として、生涯学習が必要とされている。その一方で、震災や長引く不況の影響により数値はほぼ横ばい状態にある。しかしながら、初期数値と比べると一定の水準を保っており、健康で生きがいのある人生を過ごし、精神的な充実や生活の向上を目指すことが定着しつつあると捉えることもできる。今後もより一層の学習機会等の提供や既存施設の整備を図り、学習の成果を地域やまちづくりに発揮できるような環境整備に努めていく。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	337,929	327,824	317,436
事業費(千円)	258,135	255,989	244,192
人件費(千円)	79,794	71,835	73,244

## 01 生涯学習関連施設の充実

### 基本事業の目的

図書館や公民館などの施設を充実させることにより、生涯学習に取り組む市民・団体に学習する場を提供することができます。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

生涯学習関連施設

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・学習目的を達成する場がある。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習施設が充足していると思う市民割合	%	71.1	73.5	-	75.7	↗

### 基本事業の達成状況 (23年度)

公民館については平成18年度より指定管理者制度を導入しており、指定管理者による効率的な運営管理と事業実施により、利用者のニーズに応えられていることが指標の上昇に繋がっていると分析する。利用者数についても、前年度と比べ5千人程の増加が見られる。ただし、利用者アンケート調査の施設満足度については、満足・普通とした回答が下半期で70.1%と、前年度より7%ほど下がっており、その要因として施設の老朽化等が考えられる。今後も、限られた予算の中で、サービス向上と既存施設の整備を図っていく。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	282,982	259,863	262,794
事業費(千円)	237,846	220,937	222,733
人件費(千円)	45,136	38,926	40,061

## 02 生涯学習支援体制の推進

### 基本事業の目的

市民に学習に関する情報を提供したり実施団体に対して補助・支援を行い、利用者が自分たちで活動・学習内容を選択するための情報を得ることができるようにします。

### 対象 (誰を対象とした指標か)

学習情報の利用者、生涯学習を主体的に行う団体

### 意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・自分たちで主体的に活動・学習内容を選択するための情報を知ることができる。  
・組織を作り自分たちで活動できる。

### 基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習の情報が充足していると思う市民割合	%	70.5	71.7	-	71.2	↗
生涯学習を主体的に行う団体数【社会教育団体登録数】	団体	240	241	249	228	240

### 基本事業の達成状況 (23年度)

生涯学習課としては、社会教育関係団体が利用する施設の減免、青少年ふれあい交流促進事業としての補助金、更に社会教育団体への交付金事業を通し生涯学習支援を行なっている。平成23年度は、社会教育登録団体の大部分にとって、3年に1度の更新年度に該当しており、その際に再審査を行ったことから指数は減少している(活動を休止している団体等を抹消)。その一方で、生涯学習課及び生涯学習課が事務局を務める生涯学習推進協議会による生涯学習事業の推進により、生涯学習情報の充足に対しては、70%を超えるパーセンテージを維持している。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	6,622	6,572	6,793
事業費(千円)	2,189	2,158	2,341
人件費(千円)	4,433	4,414	4,452

**基本事業の目的**

生涯学習を受ける機会を充実させることによって、様々な生涯学習に取り組む市民が増えるとともに、その学習成果を社会の中で活かすことができます。

**対象 (誰を対象とした指標か)**

生涯学習に取り組む市民

**意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)**

- ・学習機会がある。
- ・学習目的にあわせた指導が受けられる。
- ・個人学習に必要な資料の提供が受けられる。

**基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)**

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生涯学習機会が充実していると思う市民割合	%	70.2	71.9	-	72.2	↗
学習した成果をまちづくりやボランティア活動等に活かしている市民の割合	%	-	24.9	-	22.1	↗

**基本事業の達成状況 (23年度)**

幼児と親、児童生徒、成人、高齢者といった世代別に応じて学習機会の提供に努めた結果、引き続き生涯学習機会の提供については、一定のレベルを満たしていると捉えることができる。特に、青空子どもの広場など体験参加型の事業では、多くの人が参加したことについて満足感を示している。その一方で、蓄積した学習結果を市民がどう生かしていくかという次のステップについての指数は伸び悩んでおり、生涯学習課の事業を超えた今後の課題となっている。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	31,874	44,701	30,460
事業費(千円)	7,694	22,228	7,799
人件費(千円)	24,180	22,473	22,661